

広島県中小企業団体中央会 2019年4月分情報連絡一覧表

食料品

●食料品

中国醤油醸造協同組合

4月の出荷量は前月比20.9%増加、前年同月比9.2%増加となり、売上高は前月比20.5%増加、前年同月比6.2%増加となった。

広島県東部菓子商工業協同組合

人手不足が続く中、大手や条件の良い先へ就職を希望するため、良い人材が採れない。

木材・木製品

●木材・木製品

福山木材協同組合

今後景況感は上向く気配もあるが、先行きは不透明である。

広島県木材協同組合連合会

<全国>

- ・平成31年3月の全国の住宅着工戸数は76,558戸で前年同月比10.0%増加
- ・季節調整済年率換算値では98.9万戸(前月比2.3%増加)
- ・利用関係別では、持家は22,404戸で前年同月比8.9%増加、貸家は28,413戸で前年同月比4.5%減少
- ・分譲住宅は25,301戸で前年同月比33.0%増加
- ・木造住宅の着工数は41,428戸で前年同月比4.3%増加となった
- ・住宅着工の動向については、前年同月比で4ヵ月連続の増加となった

<広島>

- ・広島県内の3月の着工戸数は1,357戸で前年比15.3%減少、このうち持家は400戸で同1.8%増加、貸家は526戸で同31.1%減少、分譲は431戸で同3.1%減少
- ・県全体の住宅着工動向は前年同月比で2ヵ月振りの減少となった
- ・地域別では広島市が着工戸数599戸で前月比18.7%減少、福山市が260戸で同18.8%減少、呉市が36戸で同65.7%減少の一方、東広島市が155戸で同64.9%増加、廿日市市が57戸で同18.8%増加、尾道市が32戸で同128.6%増加と地域ごとにばらつきがある
- ・上記各市の状況は例年と変わらないことから、消費税率引き上げ前の駆け込みが期待されるが、需要はなさそうである。
- ・慢性的な大工不足により、建て方までの遅れや、それに伴う建材の納期遅れに対応するための加工遅れが増えていいる。プレカット工場の稼働が上向く気配はあるが、需要期本番とは言えず、構造材の需要は停滞気味であり、地域・企業間での繁閑差も顕著であり、今後も動向をしっかりと注視していく必要がある。

広島県北部国産材加工協同組合

大型連休前の駆け込み需要が若干あった。

消費税率引き上げ前の駆け込み需要はないものと予想されることから、市場には停滞感が漂っている。

丸太相場は、出材の多かった桧が弱含みで逆に杉は強含みで推移している。

印刷

●出版・印刷・同関連

広島県印刷工業組合

今月は、各社共長期休暇が予想されるGWを前に仕事量は増加していたが、売上には結びついていない。生産性を上げると同時に、付加価値を高めてじっくり丁寧に作り込んでいくために試行錯誤を繰り返している。

化学・ゴム

●工業用ゴム製品

中国ゴム工業協同組合

今年4月の第四4半期(1月～3月)は引き続き多忙であったが、米中貿易戦争による中国経済停滞の影響が少しずつではあるが表れており、繁忙感が若干薄れつつある。それに伴い求人も中止している。

10月からの消費税率引上げによる駆け込み需要もあり期待出来ない。原材料価格もOPECの減産を受け、価格が再び上昇しつつあることを懸念している。消費税率引上げ後の景気後退がどのように影響してくるのか、不透明感が強まっている。

●プラスチック製品製造業

広島県プラスチック工業会

自動車関連の売上は、順調に推移している。

全体的に、売上は現状維持で推移している。

窯業・土石製品

●窯業・土石製品

広島地区生コンクリート協同組合

出荷状況

31年4月 3,193m³（前年比22.67%増加）

31年3月 3,296m³

30年4月 2,603m³

鉄鋼・金属製品

●鉄鋼業

靱鉄鋼協同組合連合会

建築向けの鋼材の溶断（切り板など）は、一層先行きが不透明になりつつある。

一般機器

●一般機械器具

広島県東部機械金属工業協同組合

今月の売上は、年度末の反動減と5月へのずれ込みにより、前月比73.2%減少、前年同月比13.9%減少となったが、総じて4,5月は前年対比55%以上増加を見込んでおり景況感はやや好況で推移いる。しかし、今後は中国景気の回復の遅れ等が懸念されることから、今後の見通しとしては下降が予想される。

出島工業会協同組合

年度が変わり、若干仕事量は落ち着いてきた。

組合としては、引き続き役員の高齢化と世代交代が課題である。

電気機器

●電気機械器具

広島県東部機械金属工業協同組合（電気機械器具）

今月の売上は、輸出物件の減少と装置向けが不況のため、前月比変化なし、前年同月比3.0%減少となった。人を募集しても集まらない。残業規制を望んでいない労働者もいるため、残業規制への対応に苦慮しそ

うである。
働き方改革を推進するのであれば中小企業の生産性向上、合理化に対し補助金等による支援をお願いしたい。

取引先からはコストダウン要請がある。

人件費の上昇を吸収しきれない状況にある。

輸送用機器

●輸送用機械器具（自動車）

東友会協同組合

組合員の業況は、ビジネス依存度の高い主要顧客（マツダ）の下記業況に比例している。

- ・4月の国内自動車販売台数は全需が379千台、前年同月比3.4%増加と2ヶ月振りの前年超え。登録車は前年同月比2.5%増加と2ヶ月振りの前年超え、軽自動車も前年同月比で4.9%増加と2ヶ月振りの前年超え。マツダ車も19.1%減少と2ヶ月連続の前年割れ
- ・アメリカの3月の全需は1,609千台で前年同月比2.7%減少と2ヶ月連続の前年割れ。マツダ車は同19.1%減少と9ヶ月連続の前年割れ
- ・欧州の3月の全需は1,962千台で、前年同月比4.1%減少と7ヶ月連続の前年割れ。マツダ車も同0.3%減少と3ヶ月連続の前年割れ
- ・中国の3月の全需は2,495千台で、前年同月比6.0%減少。マツダ車は同22.8%減少と11ヶ月連続の前年割れ
- ・上記各地域の状況下、マツダ車の3月の海外販売合計台数は125千台、前年同月比9.1%減少と7ヶ月連続の前年割れ
- ・マツダの3月の輸出動向については、輸出台数は前年比5.6%減少と3ヶ月振りの前年割れ
- ・マツダの3月の国内生産台数は、前年同月比4.3%減少と6ヶ月振りの前年割れ

●輸送用機械器具（造船）

（一社）中国小型船舶工業会

中小造船業については、前月と大きな変化はない。

中国地区造船協議会

県内2,500総トン以上の平成31年4月の船舶建造許可実績は2隻47,700総トン（前月8隻420,100総トン、前年同月1隻151,000総トン）であった。なお、全てが輸出船で、このうち貨物船が1隻、油槽船が1隻であった。

卸売業

●卸売業（総合）

協同組合広島総合卸センター

3月は繁忙期の企業が多いが、その反動から売上・収益ともに減少した。雇用は増加傾向にある。

「資材関連」においては、年度末を過ぎ、公共工事、新設住宅着工戸数共に減少傾向。

「雑貨」においては、メーカー等からの値上げ要請もあり、得意先への価格転嫁にはタイムラグもあり

、苦戦している。

「食品」においては、得意先（販売先）の廃業や集約、食料品の値上げの影響もあり今後業績が厳しくなる見通しである。

「繊維」においては、物流のコストアップ、従業員の高齢化に少人数経営では十分な対応策が見いだせず、対応が後手となり厳しい状況が続いている。

最低賃金の上昇や近隣商業施設との人材獲得競争により、中小企業は賃金コストが上昇し、人手不足感も継続している。また、人手不足から新たな仕事を受け入れない事態も発生している。従業員は高齢化しているが、将来の見通しが持てないため人員の補充ができない状況である。

足もとの売上は前月比減少。収益環境は人件費、配送費が上昇、燃料費が上昇傾向にあり依然厳しい。

●卸売業（電設資材）

広島県電設資材卸業協同組合

広島県の2月の着工状況は、前年比14.3%増加、内訳としては、持家は6.5%増加、分譲は4.2%減少、貸家は5.4%減少と持家が増加中で、消費税率引き上げ前の駆け込み需要ではないかと思われる。

新年度に入り、例年通り、動きは落ち着いてきている。

●卸売業（家具）

リビズ株式会社

店舗売却により、1店舗閉店した。

●卸売業（畳・敷物）

広島県藁製品商業協同組合

国産畳表の取引状況は、各方面での展示会が開催されているが、売れゆきは弱含みで推移している。

産地では畳表の製織を控え、新草の先刈を優先している。国産表の市況は、若干弱く、一枚当りの単価が下がっている。思ったほど消費が上向いていない。

中国産のい草、畳表についても、市場の需要・消費動向を見極めながらの輸入となっている。販売取扱量は前年を少し下回っている。

今後も顧客満足度の向上に向けた取り組みを継続することで、新規顧客の獲得にも繋がっていくものと思われる。

小売業

●各種商品小売業

広島生鮮三品連絡協議会

青果物の入荷状況、相場は平年並みに回復しているが、鮮魚は入荷が少なく相場は高値傾向が続いている。

小売業界の中でも食料品小売は景気悪化傾向が続いている。

大型スーパーは売上を維持しているが、値上げによる買い控えなど消費者の購買意欲が鈍く、その影響は中小小売業者に出ている。

協同組合三次ショッピングセンター

人手不足により営業時間を短縮した影響で、売上が減少している。

●家庭用電気機械器具小売

広島県電器商業組合

今月の販売実績は前年同月比6.3%減少となった。商品別では、薄型テレビ前年同月比4.0%減少、冷蔵庫同0.1%増加、洗濯機同7.6%減少、IHクッキングヒーター同1.1%減少、電気温水器同1.6%減少、エアコン同6.3%増加となった。

その他の小売業（燃料）

広島県石油商業組合

販売不振から市況が低迷し、人材不足に陥るなど、悪循環となっている。人手不足から、働き方改革への対応を不安視する事業者も多い。

商店街

●商店街（各種商品小売業）

呉本通商店街振興組合

近隣の中通りで営業している寿司店の姉妹店が今月、開店した。一昨年閉店した小売店のビルを購入して改装したもので、本格的な寿司店の開業は当商店街では近年にない話題である。

サービス業

●自動車整備業

広島市自動車整備団地協同組合

車検台数は、前月比9.6%減少、前年比8.5%増加

車検場収入は、前月比12.2%減少、前年比8.5%増加

重量税・登録印紙の売上は、前月比27.1%減少、前年比4.8%増加

●広告業

広島県広告美術協同組合連合会

GW前の駆け込みがあり、若干ではあるが仕事量は増加した。5月は例年閑散期のため、売上増は期待出来ない。

一部資材が廃番に伴う値上げのため、収益への影響が懸念される。

●情報サービス

(一社) 広島県情報産業協会

新年度に入り、官公庁からの受注は低調である。6月頃から動き始めるのではないかと予想される。民間からは細かい受注が増加している。標準品ではなく、カスタマイズの依頼が多い。

●建設業

福山地区電気工事業協同組合

今月の工事申込件数は、電力の契約変更や容量変更などが増加しており、前年同月比増加となった。

今年度に入っても作業員不足は解消しておらず、益々深刻化している。

●工事業

広島県室内装飾事業協同組合

カーテン、敷物、壁装クロスの3品目について、今月は前月比49.2%減少、前年同月比16.4%増加と繁忙期が終息に向かい、前月比では大きく減少した。前年同月比では増加となったが、前年実績が思わしくないため参考にならない。

労働力不足も繁忙期が過ぎるとむしろだぶつきがあり、建築工事竣工時期の平準化と余裕のある工期が望まれる。

運輸業

●道路貨物運送業

松永地区トラック事業協同組合

今年のGWは、製造業などが10連休とする会社が多く、その影響で4月下旬より荷動きが全体的に悪く、売上高は前月比、前年同月比ともに減少した。また、売上高に比例して収益状況も悪化した。収益状況悪化の原因は、軽油価格の高止まりである。

働き方改革関連法が4月から施行され、年次有給休暇の取得義務化が本年4月から適用となり、自動車運転の時間外上限規制は2024年4月1日から始まる。ドライバー不足の現況から見ると今後も厳しい状況が続くことが予想される。

協同組合尾道地区総合トラックセンター

4月の荷動きは、年度初めでもあり前半の荷動きは鈍く、中旬以降に動きがあり売上高、収益状況は前月比減少、前年同月比不変であった。

広島輸送ターミナル協同組合

例年4月は、3月の繁忙期の変動で出荷が減少する月であるが、今年はGWが10連休と長期となったため、出荷が前倒しされ、慢性的な車輛不足もあり多忙であった。

運送業界では人手不足を背景に、4月からの働き方改革関連法の施行も相まって、運転者の労働時間の短縮と運送効率化に取り組んでいる。

人材確保に向けた収益確保のために、更なる適正価格での運賃、作業料金の収受が必要である。

●水運業

全国内航タンカー海運組合中国支部

船員の高齢化が進んでいると同時に若年船員が育っていないため、船員不足である。

平成30年度上半期の実績は、製造業の稼働率上昇の影響からか、ケミカルと耐腐食の輸送量が微増している。重油からLPGへとシフトしている影響により、重油の輸送量は減少している。

その他

●不動産業

広島県不動産評価システム協同組合

今月は公的評価報酬の入金があったため、売上高等が好転しているが、その他は特に変化はない。

前月比も特に変化はない。

5月は休日増加により売上高等は減少の見込みである。

利便性の高い平地部の土地需要は強含みで地価は上昇傾向にある。